

第3章 住生活の目指すべき姿と基本目標

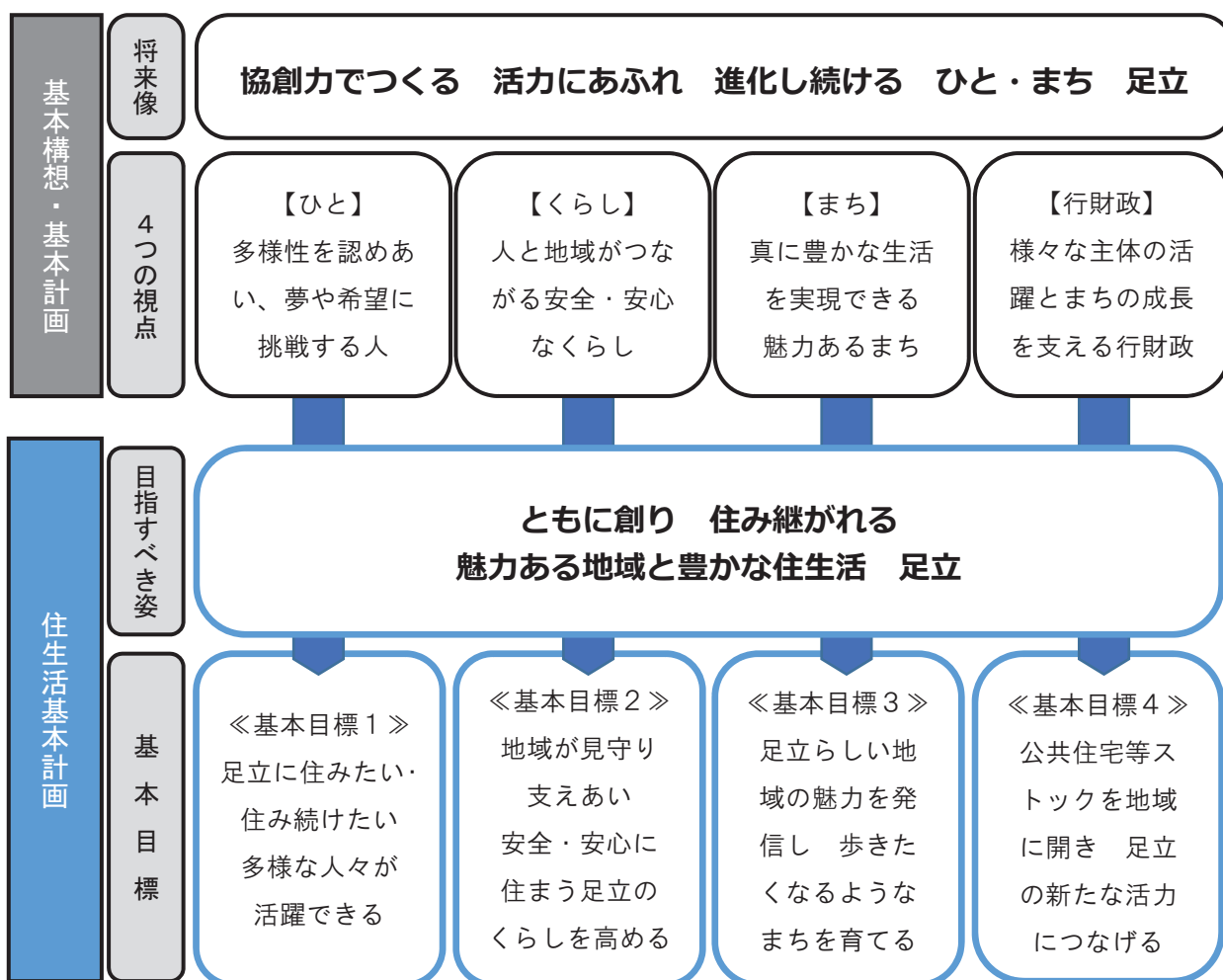
第1節 目指すべき姿

本計画では、多様な人々が互いの役割を果たし、まちを創り動かす「協創力^{*}」により、30年先も住み継がれていく足立を目指します。ハードとソフトの視点から区民や地域の関係団体、民間事業者、行政が主体的に住まい・住宅地づくりに取組み、豊かな住生活を実現していくため、以下を足立区の住生活の目指すべき姿とします。

【 住 生 活 の 目 指 す べ き 姿 】

ともに創り 住み継がれる

魅力ある地域と豊かな住生活 足立



第2節 基本目標

1 【ひと】足立に住みたい・住み続けたい 多様な人々が活躍できる

足立区生まれ・育ちの区民を増やす、若年世帯を呼び込む、三世代近居を推進する等により、世代を超えた様々なライフステージの人々が住まい、バランスのとれた人口構造を適切に維持することを目指します。また、多様な人々が互いに刺激し高めあう住生活のために、多様なライフスタイルを持つ様々な人々が活躍できる環境づくりを推進します。

2 【くらし】地域が見守り支えあい 安全・安心に住まう足立のくらしを高める

足立の先進的な安全・安心に関するハード面とソフト面の取組みを、地域の見守りや支えあいを継続・強化する等、多様な主体による取組みにより一層高めます。また、住み慣れた地域や住まいに暮らし、住民がお互いに交流し、つながり支えあうことができる安全・安心なくらしづくりを推進します。

3 【まち】足立らしい地域の魅力を発信し 歩きたくなるようなまちを育てる

散策やまち歩きが楽しい生活街路や緑道のネットワークがつながることで、生活環境の利便性や安全性を向上させるとともに、区民が自分の住む地域の魅力を発見し、その魅力を区内外に発信することで、誇れるまちをつくります。また、環境にやさしい住まいづくりや住まいの適切な維持管理等により、将来につながる魅力のある住宅地の形成を推進します。

4 【行財政】公共住宅等ストックを地域に開き 足立の新たな活力につなげる

公営住宅^{*}、UR、公社賃貸住宅等公共住宅[※]ストックを地域の資源としてとらえ、公共住宅の建替えに伴う創出用地等を地域の生活利便性や住環境向上に貢献する場所として活用し、新たな活力をつくります。また、足立区公共施設等総合管理計画に基づく長期的な視点に立った施設配置と、良好な住宅供給の促進を両立させ、バランスのとれた住宅地を形成します。

